

こすもすカレッジジュニア

保護者評価表

職員評価表

自己評価総括表

公表日 2026年3月31日

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	7		1	お菓子スペースや勉強スペース等わかりやすく分かれていて良いと思います。 体を動かせるスペースがもう少しあればいいです	今後子ども達が過ごしやすい環境づくりを目指します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	20	1		3		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	5	7	1	入口の階段が急です。	安全に階段の昇り降りができるよう職員が気を付けてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	3		2		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21	2		1		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1		1		
	7 こどものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	3				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスカイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	2		2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	3			かなり充実していると思います。	今後子ども達が楽しめるプログラムを提供していきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	6	3	7	初級イベントで中学生とお会いできて良かったです。 必要性は感じていません。	ジュニアからカレッジへの移行利用もできますので、子ども達が中学生の過ごし方をイメージできるよう交流の機会を設けていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	6	5	6	あれば参加したいです。	今後こどもすカレッジでできることを検討し進めていきたいと思っています。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22	2			いつも丁寧にみてくださり、良いところをたくさん見つけてくださっています。	
保護者 への 説明等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	3	1	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	1		2		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	5	8	7	なくて良いです。 あれば参加したいです。 保護者会の開催を希望します。	保護者会や保護者参観など実現できるよう努めてまいります。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1		1		
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	2				
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18	2	1	3		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	1		1		
	非常 時 等 の 対 応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3		4	
24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。		14	3		7		
25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。		18	4		2		
26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。		20	1	1	2		
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	23	1				
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	2			毎回来楽しみにしています。	
	29 事業所の支援に満足していますか。	23	1			どの職員さんも素敵なのでお名前を覚えるために 名札を付けてもらっています。	送迎時など名札をつける等して対応していきたいと思っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援等とのスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	3	職員の人数が少ないと感じます。	採用を進めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こどもの活動に合わせた空間となっているか。	4	1	机や椅子の高さ調整、危険なものの収納場所、おもちゃ等工夫が必要です。	職員で話し合い安全で適切な支援ができるよう努めてまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	個人差があります。	カリキュラム担当が事前に職員間で共有・相談できる環境を整備していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育むための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年次計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	高校生がほとんど利用していないため提供する機会がありません。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を回り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		

関係機関や保護者との連携	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供を行っているか。	3	2		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
	54	どのような場合にもやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5			

○事業所名	放課後等デイサービス ごすもすカレッジジュニア		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日 ~ 2026年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 24
○従業員評価実施期間	2026年 2月 1日 ~ 2026年 2月 28日		
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 26日		

○分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご利用者様・保護者の方のご要望や一人ひとりの特性に応じて、カリキュラム作成を行っていること。	カリキュラム内容の設定を担当者が主体的に行う一方で、その詳細な作成プロセスにおいて、多面的な意見交換を積極的に行う体制を整えている。	経験の差によりカリキュラム内容の設定に個人差が出ていることもあるため、より一層スタッフ間でコミュニケーションを図りより良い支援につなげていきたい。話し合いの内容を記録し、全スタッフがいつでも共有できるノートを準備し、さらなる改善に向けた継続的な取り組みを目指す。
2	カリキュラム作成をするにあたって、楽しむ事を前提としてご利用者様が興味を持ち、意欲的に取り組める内容となるよう工夫をしていること。	ご利用者様が楽しみながら領域をバランスよく学べるカリキュラムを提供しています。遊びや体験を通じて学びを深める工夫を行っている。	モニタリング時にご意向を伺うだけでなく、ご利用者様同士の話し合いの場を定期的に設けることで、具体的な「やりたいこと」を自由に提案できる機会をつくる。また、その提案をカリキュラムや活動計画に反映させることで、利用者様が自主的に行動し、積極的に取り組める環境づくりを行う。
3	保護者様とご利用者様の特性・状況の共通理解ができている。	送迎時には、保護者の方々と情報共有を積極的に行い、また、ご利用者様の日々の様子(学校や自宅での状況)に関する変化が見られた際には、迅速に対応できる体制を整えている。	スタッフに対する研修を実施し、状況に応じた柔軟かつ迅速な対応スキルを高め、より質の高いサービスを目指す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の関わりや機会の提供	保護者会や保護者様同士が顔を合わせる機会が十分に設けられていないこと。保護者様やご兄弟が参加できるイベントが少ないこと。またその為に必要な人員の確保が課題となっていること。	対応に必要な人員確保を最優先として今後保護者会や保護者参加型のイベントの企画を続けていきたい。スタッフ人員を拡充し小規模な集まりや情報交換の場を設ける工夫を行う。
2	地域の場の活用や地域住民(子ども)との関わり	土曜日や長期休暇には地域のイベントへの参加や公共施設、公園、店舗の利用等、地域との交流が図れているが、平日の支援では地域の場の活用や子ども達と交流する機会が提供することが難しいこと。	他教室のイベントに参加することで事業所外の関わりを持つことができた。今後平日においても、可能な限り(下校時間が早い時等)公共施設を利用し、地域の場の活用や地域の方との交流を増やしていく。地域のボランティア団体などの受け入れを行っていく。
3	地域自立支援協議会等への参加	自らが地域の中の社会資源であるという意識と多職種連携・地域連携の必要性について把握し日々の業務を行っていくこと。	地域にて開催されている自立支援協議会に参加することで多職種連携・地域連携できる体制を整えていく。参加した際には情報共有を行うこととともに、業務を通して見出される課題を報告し合い地域課題への解決に向けた取り組みを進めていく。